

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社西原商会九州 八代支店	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市川田町東字新村269-1	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし	平均居住人員	64人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年5月26日
敷地面積	8,839㎡	作成者	㈱エネ・グリーン 臼井 千尋
建築面積	2,422㎡	確認日	2020年5月26日
延床面積	3,126㎡	確認者	㈱エネ・グリーン 定森 淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	86%
③ 上記+②以外の	86%
④ 上記+	86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.5
温熱環境	2.6
光・視環境	2.6
空気質環境	3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.7
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価


評価点 = 79

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 84.0	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 88.5
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 75.0	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 88.5

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	株式会社西原商会九州 八代支店	階数	地上2F		
建設地	熊本県八代市川田町東字新村269-	構造	S造		
用途地域	用途地域指定なし	平均居住人員	64 人		
気候区分	7地域	年間使用時間	2,500 時間/年		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年5月26日		
敷地面積	8,839 m ²	作成者	㈱エネ・グリーン臼井 千尋		
建築面積	2,422 m ²	確認日	2020年5月26日		
延床面積	3,126 m ²	確認者	㈱エネ・グリーン定森 淳一		

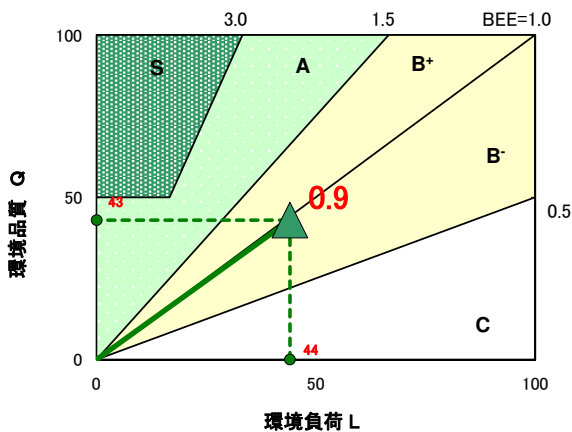
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



BEE = 0.9

$$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$$



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



排出率

86%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

79

評価点

■ 熊本県重点評価基準

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

84.0

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

65.0

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

75.0

【重点事項4】 循環型社会の実現

88.5

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

BPI_m=0.71、BIE_m=0.78
LCCO₂ 排出量86%に抑制

Q1 室内環境

事務室は吸音材を床・天井に使用し、執務スペースの音環境に配慮

Q2 サービス性能

内装材・配管材料は耐用性の良い材料を選定

Q3 室外環境（敷地内）

条例を満たす緑地面積を計画

LR1 エネルギー

BPI_m=0.71、BIE_m=0.78

LR2 資源・マテリアル

節水型水栓・便器を採用

LR3 敷地外環境

LCCO₂ 排出量86%に抑制

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 株式会社西原商会九州 八代支店新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点	
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				84	0.40	33.60	
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05				
Q1-3.1.3	昼光利用設備	4.0	0.05				
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05				
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15				
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20				
LR1-3	設備システムの高効率化	3.2	0.30				
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10				
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10				
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00	
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25				
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15				
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20				
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15				
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00	
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20				
LR2-1.1	節水	4.0	0.30				
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20				
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30				
④ 循環型社会の実現				88.5	0.20	17.70	
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.4	0.30				
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30				
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10				
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社西原商会九州 八代支店新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境							0.33			2.9
1 音環境						2.5	0.15			2.5
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						1.4	0.40			
1 開口部遮音性能						1.0	0.60			
2 界壁遮音性能						2.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音		事務室:床・天井の二面に吸音材を使用				4.0	0.20			
2 温熱環境						2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.38			
2 外皮性能						3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						3.0	0.30			
3 光・視環境						2.6	0.25			2.6
3.1 昼光利用						2.2	0.30			
1 昼光率						1.0	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備		事務室:ハイサイドライトの設置				4.0	0.40			
3.2 グレア対策						2.0	0.30			
1 昼光制御						2.0	1.00			
3.3 照度		事務室:840lx				4.0	0.15			
3.4 照明制御						3.0	0.25			
4 空気質環境						3.9	0.25			3.9
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		内装及び天井裏仕上げ材はすべてF☆☆☆☆とする				4.0	1.00			
4.2 換気						4.3	0.30			
1 換気量		事務室:換気量は33m ³ /h人				4.0	0.33			
2 自然換気性能		事務室:自然換気有効開口面積1/30以上				4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		事務室:各種排気口と異なる方位で6m以上離れて設置				5.0	0.33			
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						1.0	0.50			
2 喫煙の制御		負圧の喫煙スペースあり				5.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.0
1 機能性						2.7	0.40			2.7
1.1 機能性・使いやすさ						2.3	0.40			
1 広さ・収納性						1.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33			
3 バリアフリー計画						3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30			
1 広さ感・景観		事務室天井高:3.0m				5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース						2.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			
1.3 維持管理						3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		清掃用具入、清掃用流しの設置				4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		共通:壁(天井)床+クロス10(30),事務所:ビニル床20,工場:コンクリート床65				3.7	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種:給水管、汚水排水管、雑排水管: B以上、Eは不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		事務所用途:ガス給湯器10年,工場用途:冷凍機20年				3.7	0.20			
2.4 信頼性						2.8	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:4.2m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	比率:0.13	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.37	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.71	5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.78	3.2	0.59	-	-	3.2
4 効率的運用			3.0	0.24	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		共通 路盤材:再生クッションRC-40,再生アスファルト・パーク堆肥	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		共通:躯体+軽鉄+仕上材で分別可能な構造,事務所:OAフロア	4.2	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量86%に抑制	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場、荷捌き用駐車スペースを確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策及び広告物照明等チェックシートの過半を満たす。	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	